

スタイルフェンス施工説明書

商品・施工に関するお問合せ

TEL:059-340-4100

FAX:059-353-1439

東京ガーデニングスタイル
TOKYO GARDENING STYLE

施工説明書
在中
梱包明細書

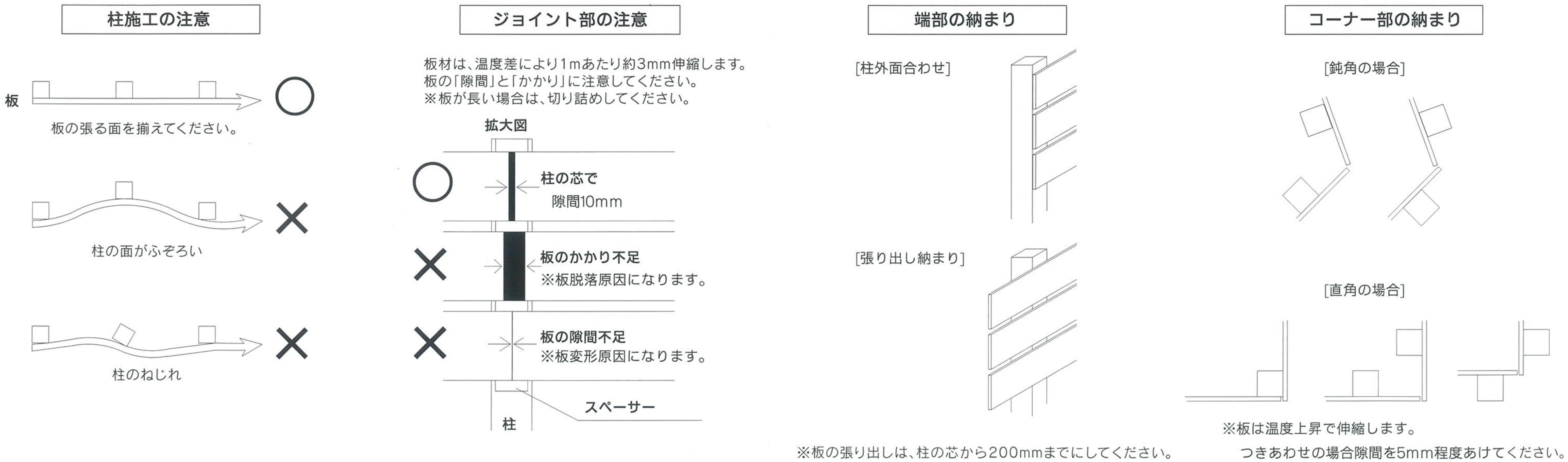
【施工上の注意事項】

- 製品の組み立て・施工は必ず施工説明書に従って行ってください。
- スタイルフェンスは目隠しフェンス用の部材です。強度が必要な防護柵や高所の手すり等には使用できません。
- 製品を危険と思われる場所や、緊急避難用通路の妨げになるような場所に設置しないでください。
- アルミ材や製品の切り口には、バリが残る場合があります。怪我をする可能性がありますので取扱いには注意してください。
- 施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分別してから適切な処理をしてください。
- スタイルフェンスは素材の特性上、温度差による伸縮・板の反りが発生する場合があります。
- スタイルフェンスは原料にリサイクル材を使用しているためロットにより色ムラ・色差が生じる場合があります。(特に部材の交換や追加工事の場合は、既存の部材と色差が生じやすくなります)
- スタイルフェンスは必ず平坦な場所に平置きしてください。(立て掛けたり、段差のある場所に置くと板が変形する場合があります)
- SANDINGタイプの板材は、切断の際に表面に欠けが発生する場合があります。(サンドペーパー、ヤスリ等をご使用いただく欠けが目立ちにくくなります)
- 水が凍結する可能性のある地域では、アルミ柱の埋込部に浸水防止剤(発泡スチロール・下部キャップ等)を入れるなど凍結対策をとってください。(弊社アルミ材に浸水防止剤はふくまれておりません)
- アルミ柱を立てるときは、柱に必ず4mm程度の水抜き穴をあけてください。又、耐風圧を考慮しブロックや独立基礎の強度が十分かご確認ください。
- コンクリート(またはモルタル)には強塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結材)や塩分を含む砂(海砂)などは使用しないでください。柱の腐食が促進され破損事故につながる恐れがあります。
- ジョイント材を取り付ける際は、必ずキリで下穴をあけてください。(下穴をあけずに施工するとバリの発生やスペーサー破損の原因になります)
- 風当たりの強い場所、積雪の多い場所や、地盤の弱い場所で施工する場合、控え柱等の補強が必要です。
- 風当たりの強い場所や施工フェンスの高さがある場合、アルミ柱上部での揺れ止め胴縁のご使用をお勧めします。(詳しくは営業担当者にご確認ください)

【ご使用上の注意事項】

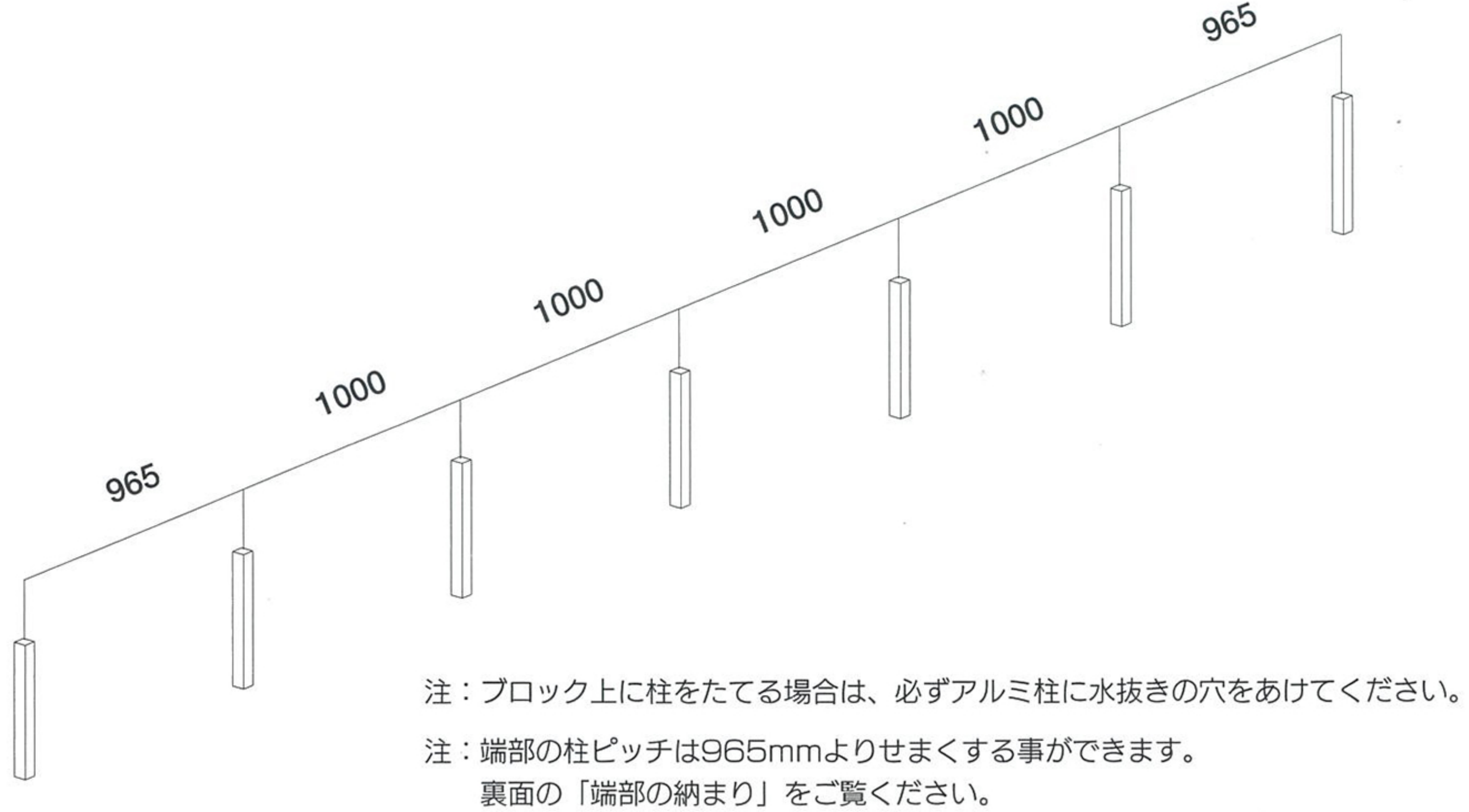
- 本製品にぶらさがったり、のぼったりしないでください。
- 重たいものを立て掛けたり、一点に衝撃を加えると破損の原因になります。
- 汚れを落とす際には、製品表面に傷がつかないように柔らかい布か、スポンジで水洗いしてください。
- 汚れがひどく洗浄する場合には、家庭用中性洗剤を薄めて使用してください。
- 製品の近くで火気を使用しないでください。

【施工のアドバイス】



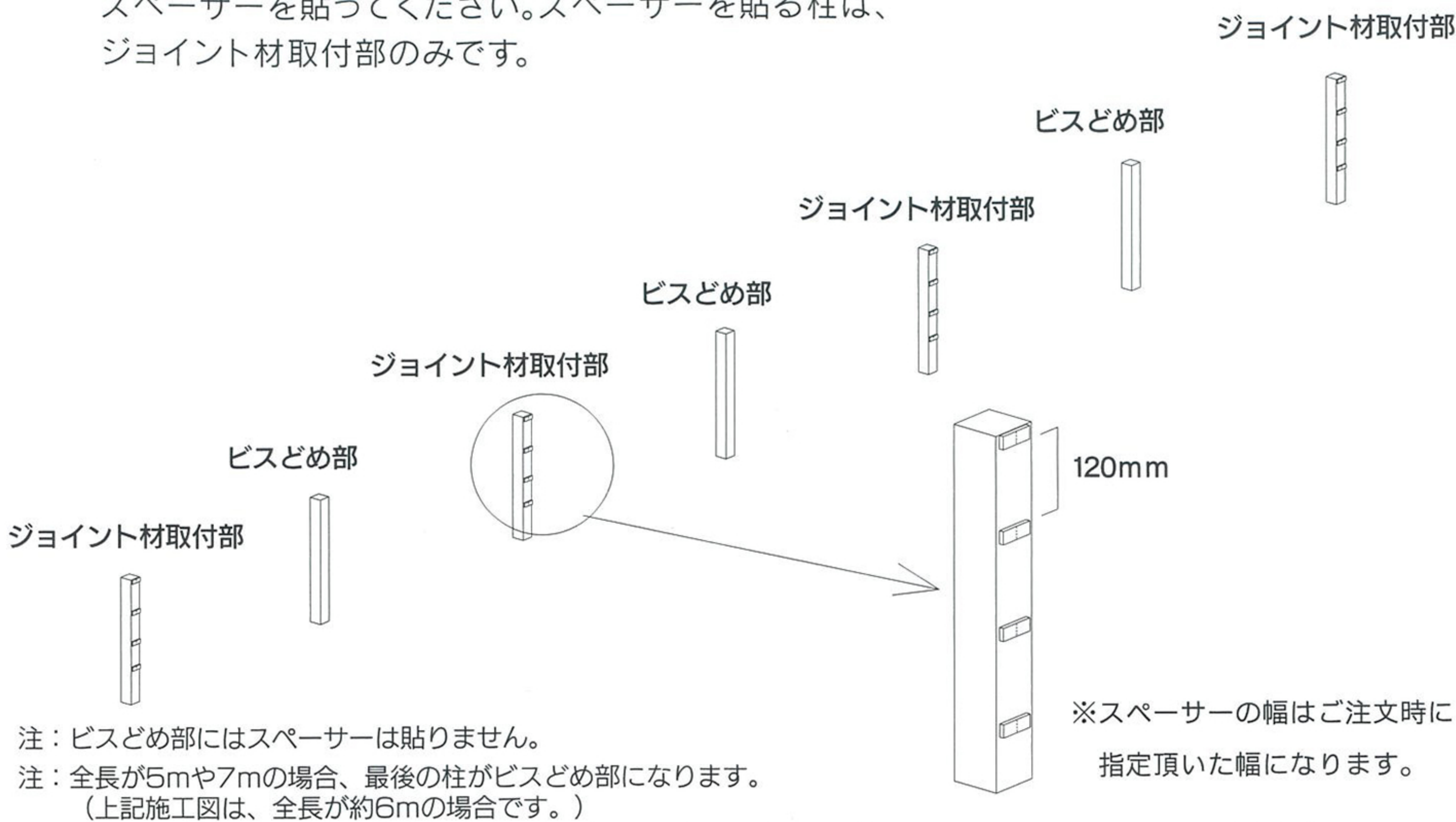
①アルミ柱を立てる

アルミ柱を建込みます。柱ピッチは必ず1000mm以内で施工してください。
図は60×60柱を使い、スタイルフェンス120幅L=1990の板を3枚横に並べる施工です。
30×50柱を使用する場合は、幅50mm側を板の取り付け面として使用してください。



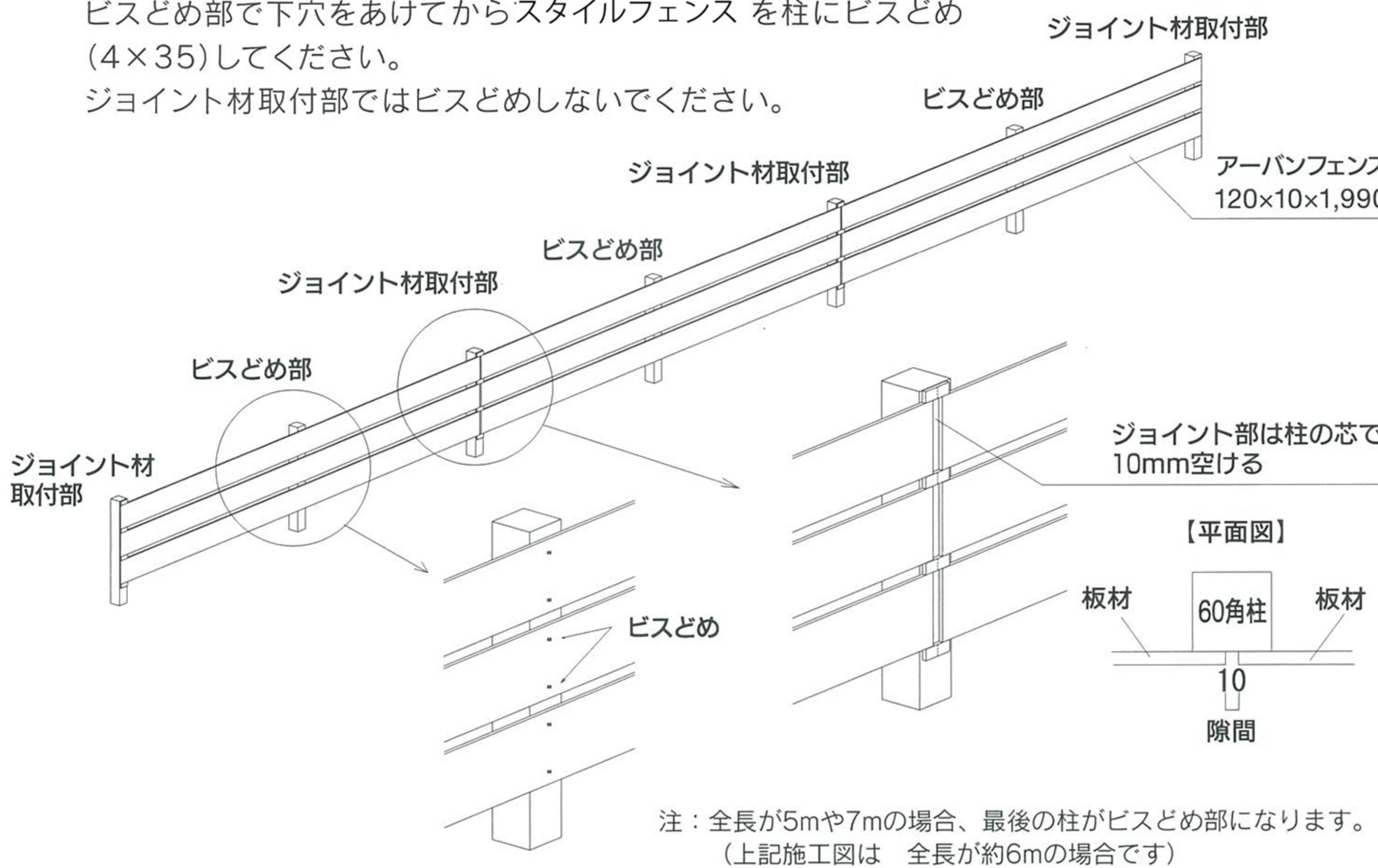
②スペーサーを貼る

アルミ柱にスペーサーを貼ります。スペーサーは接着テープ面をアルミ柱に貼り付けてください。柱の最上部から、板の幅分(120mm)あけながらスペーサーを貼ってください。スペーサーを貼る柱は、ジョイント材取付部のみです。



③スタイルフェンスを取り付ける

ビスどめ部で下穴をあけてからスタイルフェンス を柱にビスどめ(4×35)してください。
ジョイント材取付部ではビスどめしないでください。



④ジョイント材を取り付ける

ジョイント材取付部の柱に、ジョイント材をビスで取り付けます。スペーサーの中心にくるよう、必ず下穴をあけてからビスどめしてください。(下穴をあけずに施工すると、バリの発生やスペーサー破損の原因になります)

